

## 平成28年度第1回上越市文化財調査審議会次第

日時：平成28年6月13日（月）午前10時～  
場所：上越市埋蔵文化財センター2階学習室

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 教育長あいさつ
- 4 委員長、副委員長選出
- 5 委員長あいさつ
- 6 報告・議事（委員長）
  - (1) 報告
    - ・平成28年度事業計画について
  - (2) 文化財指定等について
- 7 そ の 他
- 8 閉 会

歳出科目 (P326~P327)	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
文化財保存整備費	7,156	7,183	△27

主な財源		主な経費	
諸収入	286	報酬	2,178
一般財源	6,870	委託料	1,182
		共済費	209
		負担金補助及び交付金	
		旅費	380
			2,273

市内に所在する文化財の保存・活用を図り、市民が郷土の歴史や文化に誇りや愛着を持てるように努める。

## 【目的】

県下最多を誇る 365 件の指定文化財の適切な保存・伝承に努めるとともに、計画的に新たな指定を行うことにより適切な保護を図り、活用を促進する。

## 【実施内容】

- ・文化財調査審議会の開催
- ・市指定文化財候補の調査
- ・市指定文化財（建造物）の修繕への補助
- ・指定文化財管理、保存団体への補助
- ・市所有史跡の草刈り・遊歩道整備等の実施
- ・市指定文化財の標柱等の修繕

## (参考)

・文化財指定件数 365 件

平成 28 年 1 月末現在

種別	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡・ 典籍	古文書	考古 資料	歴史 資料	無形 文化財	民俗 文化財	史跡・ 名勝	天然 記念物	計
国	1	0	4	0	0	0	0	0	0	1	4	1	11
県	1	2	8	7	6	0	5	1	0	0	4	3	37
市	10	16	58	11	13	29	50	39	0	38	26	27	317
計	12	18	70	18	19	29	55	40	0	39	34	31	365

・国登録有形文化財(建造物)件数 24 件

歳出科目 (P326~P327)	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
春日山城跡保存管理事業	7,979	8,079	△100

主な財源		主な経費	
一般財源	7,979	報酬	186
		需用費	906
		委託料	5,932
		使用料及び賃借料	749

### 【目的】

国指定史跡春日山城跡の適正な保存を図るとともに、地域学習の教材として利活用できるように、維持・管理を行う。

### 【28年度目標】

春日山城跡ものがたり館入館者数：20,000人

(平成25年度：19,292人、平成26年度21,164人、平成27年度見込み：22,000人)

### 【実施内容】

史跡指定地内の市有地の草刈りや修繕、春日山城史跡広場や春日山城跡ものがたり館の管理等を地元管理組合と協働で実施するとともに、地域学習の教材としての活用を図る。

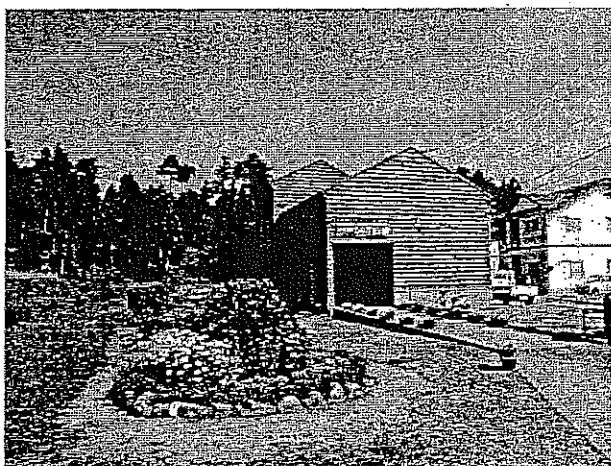
- ・春日山城跡の維持管理業務委託

委託先：春日山城史跡広場管理組合

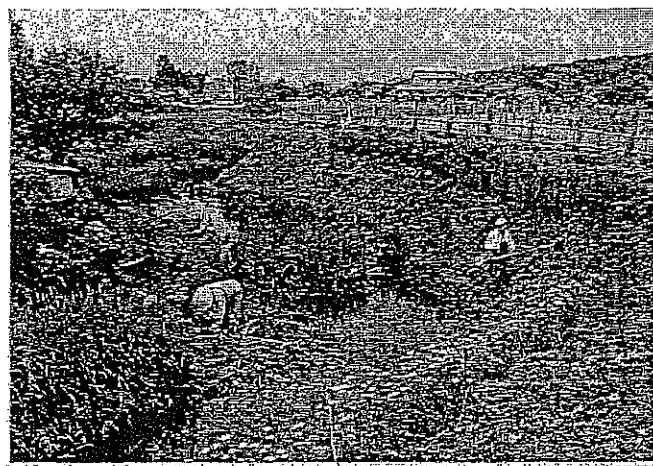
(地元5町内[大豆、春日、中門前、谷愛宕、春日野]で組織)

委託内容：草刈り、修繕、施設管理(受付、案内、清掃業務等)等

- ・史跡広場内の腐食した杭・木柵等の交換、説明看板及び遊歩道の階段等の修繕
- ・大手道、カキツバタの維持管理
- ・春日山城跡ものがたり館内の展示替の実施
- ・地元小学校と連携を図り、総合的な学習の時間としての活用の推進
- ・「日本100名城」スタンプラリーの実施



【春日山城跡ものがたり館】



【カキツバタの管理と土塁の草刈り】

歳出科目 (P 326～P 327)	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
--------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
春日山城跡 5 か年整備事業	25,762	25,184	578

主な財源		主な経費	
国庫支出金	10,281	報酬	490
寄附金	5	需用費	258
一般財源	15,476	委託料	3,024
		工事請負費	21,859

### 【目的】

上越市が全国に誇る国指定史跡春日山城跡を、風雨などによる損傷から守るため、土砂崩落防止工事等遺構保護に努めるとともに、地域学習の教材として活用を図る。

### 【28 年度目標】

- ・土砂崩落防止工事を完了させる。
- ・春日山城跡を訪れる人が安全・安心に散策できるよう、低木伐採、下草刈り、遊歩道整備等により環境を整える。
- ・春日山城跡の価値や魅力を伝え、地域学習の教材としての活用を図る。

### 【実施内容】

- ・土砂崩落防止工事の実施
- ・三の丸跡、本丸跡周辺の低木伐採及び下草刈りの実施
- ・遊歩道等の修繕
- ・市民団体や地元小・中学校との協働による草刈りや松葉かきなどの美化活動及び「土の一袋運動」などの保護活動の継続
- ・散策会「まいぶん春日山講座」(年3回)の開催
- ・講座や小中学校の学習に活用する、城跡の規模や構造を紹介した<sup>もうがまえ</sup>総構のパフレット作成



【春日中学校との協働による「土の一袋運動」】



【まいぶん春日山講座－総構を歩く－】

歳出科目 (P326~P327)	10款5項6目	文化財保存調査費
------------------	---------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
市内遺跡発掘調査事業	6,644	6,524	120

主な財源		主な経費	
国庫支出金	3,190	報酬	2,013
県支出金	857	委託料	116
一般財源	2,597	共済費	146
		需用費	733
		使用料及び賃借料	3,336
		原材料費	195

### 【目的】

各種開発事業から埋蔵文化財を守るため、発掘調査を行い、開発事業との円滑な調整を図る。

### 【実施内容】

#### (1) 詳細分布調査

調査対象地：県営ほ場整備事業地内（三和中部第1地区・木島地区など）

#### (2) 試掘調査・確認調査

調査対象地：県営ほ場整備事業地内（三和中部第1地区、水野・下牧地区など）  
上越魚沼地域振興快速道路建設予定地内など

#### (3) 本発掘調査

調査対象地：県営ほ場整備事業地内（三和中部第1地区・木島地区など）

### (参考)

- ・ 詳細分布調査：埋蔵文化財の散布状況等、地表面の観察による調査及び開発事業に際し、立会い記録等を行う調査
- ・ 試掘調査：地表面の観察等からでは判断できない場合に行う、埋蔵文化財の有無を確認するための部分的な発掘調査
- ・ 確認調査：埋蔵文化財包蔵地の範囲・性格・内容等の概要までを把握するための部分的な発掘調査
- ・ 本発掘調査：開発等で埋蔵文化財が失われる範囲について、その内容等詳細を記録保存するための調査

歳出科目 (P328~P329)	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
ほ場整備等遺跡発掘調査事業	10,151	11,677	△1,526

主な財源		主な経費	
県支出金	9,925	報酬	5,225
一般財源	226	委託料	1,420
		共済費	239
		需用費	1,374
		使用料及び賃借料	1,209
		原材料費	454

### 【目的】

県営ほ場整備事業等の開発事業から埋蔵文化財を保護するため、当該地の発掘調査を行い、埋蔵文化財の記録を保存する。

### 【実施内容】

本発掘調査及び整理作業（出土品の水洗いなど）の実施

調査対象地：県営ほ場整備事業地内など（三和中部第1地区、木島地区など）

※上記、調査に係る経費のうち農家負担分を除いた経費について本事業で支出する。



上野田越中田遺跡 調査風景  
(県営ほ場整備事業・中江北部第2地区)



笛吹遺跡 調査風景  
(県営ほ場整備事業・津有南部第2地区)

歳出科目 (P328~P329)	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
埋蔵文化財センター管理運営費	9,506	9,391	115

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	3	報酬	2,731
諸収入	1	需用費	3,302
一般財源	9,502	役務費	438
		委託料	1,802
		使用料及び賃借料	826

### 【目的】

埋蔵文化財の保護のため、調査研究・保存管理・普及公開を行うとともに、小中学校の総合的な学習の時間や春日山城跡・春日山城跡ものがたり館等を結ぶ歴史巡りのルートとして利活用を図り、郷土の歴史に関する理解を深めてもらう。

### 【28年度目標】

入館者数：42,000人

(平成25年度：43,425人、平成26年度37,878人、平成27年度見込み：38,000人)

### 【実施内容】

- (1) 調査研究
  - ・貴重な埋蔵文化財を後世に伝えるため発掘調査を行う。
  - ・出土品等に関する情報収集や資料調査などを行う。
  - ・発掘調査をもとに、科学的な分析を加えた成果を報告書等にまとめ、公表する。
- (2) 保存管理
  - ・発掘調査で収集した出土品等を整理し、適切な環境のもとに保存管理を行う。
  - ・収蔵資料を活用できるよう一貫した管理を行う。
- (3) 普及公開
  - ・展示室において、最新の発掘調査での出土品を公開する。
  - ・各地の博物館、資料館等に資料を貸出し、そこでの公開を図る。
  - ・図書等の開架を行い、発掘調査報告書や各種関連資料を公開する。
  - ・学校教育との連携を図り、小中学生の利用を促進するほか、生涯学習の学びの場として活用を図る。
  - ・NHK大河ドラマ「真田丸」に関連し、同時代に活躍した上杉景勝公や、春日山城の魅力を伝える企画展「春日山城からのメッセージ」を実施する。(4月29日から)
  - ・宮口古墳群・水科古墳群の国史跡指定40周年記念企画展(牧歴史民俗資料館)と連携し、市内古墳群の出土品などを展示する。
- (4) 施設の維持管理
  - 3年に一度の建築物定期点検を行う。

歳出科目 (P328~P329)	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
「弥生のムラ」コミュニティパーク事業	32,455	66,429	△33,974

主な財源		主な経費	
国庫支出金	7,256	報酬	12,765
諸収入	227	需用費	4,385
一般財源	24,972	共済費	1,116
		旅費	891
		委託料	9,893
		使用料及び賃借料	2,849

### 【目的】

北陸新幹線上越妙高駅に近接する国指定史跡吹上遺跡・釜蓋遺跡の活用を図るとともに、妙高市の斐太遺跡と連携した広域の史跡公園とする。

### 【28年度目標】

- ・釜蓋遺跡の構造と性格を把握するため、発掘調査を実施する。
- ・発掘調査を展示の一つと位置付け、来園者の見学に供する。
- ・発掘調査に考古学専攻の大学生を引き続き受け入れ、釜蓋遺跡の謎の解明を進める。
- ・遺跡応援団によるイベントや学芸員による定期講座を実施し、遺跡への理解を深めるとともに魅力の発信に努める。
- ・体験活動や講座の参加者数：5,000人（平成27年度見込み：4,800人）

### 【実施内容】

#### (1) 発掘調査

- ・公園南東側（2号環濠内 約800㎡）の発掘調査
- ・調査指導委員会の開催
- ・現地見学会や速報展などの調査成果の公開

#### (2) 維持管理

- ・釜蓋遺跡ガイダンスの適切な維持管理
- ・吹上遺跡及び釜蓋遺跡の草刈り等史跡の適切な維持管理

#### (3) 活用

- ・小中学校の総合学習や歴史学習の学びの場としての、発掘調査や勾玉づくり、土器・土笛づくりなど体験活動の実施
- ・遺跡応援団との連携による体験活動や「吹上・釜蓋遺跡春まつり」などのイベントの実施
- ・遺跡の魅力を発信する「釜蓋遺跡ガイダンス定期講座」の実施
- ・JR東日本「駅からハイキング」や新潟県教育委員会「新潟県考古学講演会」等の事業との連携